

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任
水野 喜代治

春よ

目映い日差しが、山を、雲を、川面を茜色に染めていく

私の左の頬も照らされて、温もりを感じた

枯れ草を霜が白く覆っている

優しく、優しく、朝日が霜も溶かしていく

太陽の光は春を届ける

山に雲に川に、そして私たちの頬に……

冬枯れした木々が眠りからゆっくり目覚める

何もかもが光からエネルギーをもらっている

ゆっくり、ゆっくり、でも私たちが意識できる速さで

魔法のように移り変わっていく

雲の切れ間から飛び込んでくる光が眩しくて

片目をつぶって挨拶する

「ありがとう。春が来るんですね！」

マフラーをキュッと締めて、ポケットから手を出して、

歩き出す

「あと少しで春が来る」

枯れ草を覆う霜を手にとると手のひらですぐに水滴に変わった

キラッと朝日に反射した水滴を思わず握りしめたくなった